



# 平成21年3月期 第2四半期

平成20年4月1日～平成20年9月30日

— 補足資料 —

平成20年10月31日

(2326)デジタルアーツ株式会社

# 売上区分変更について

---

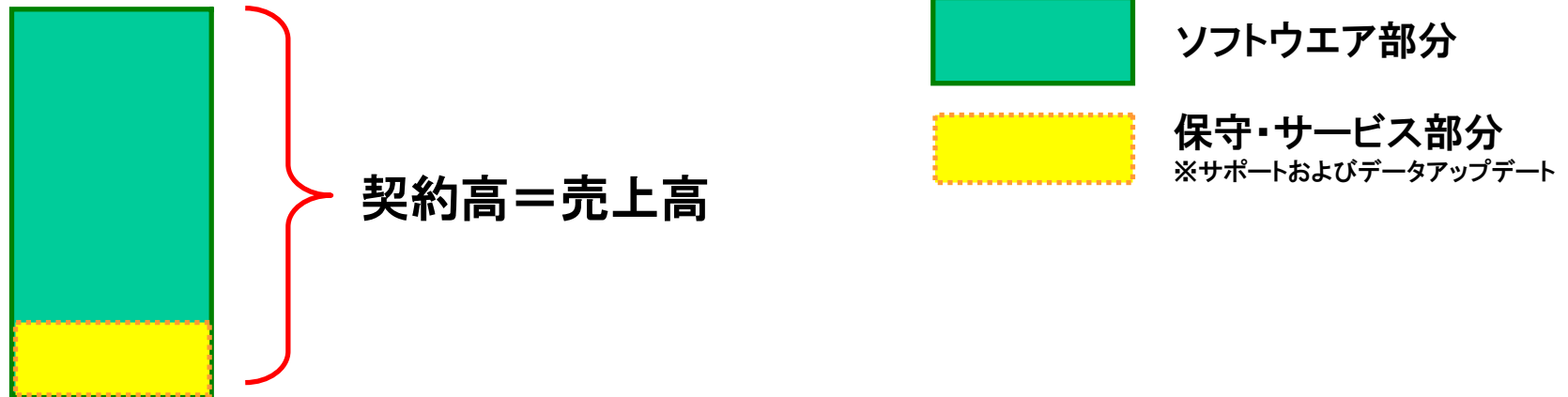
*DigitalArts.*

# 売上区分変更について

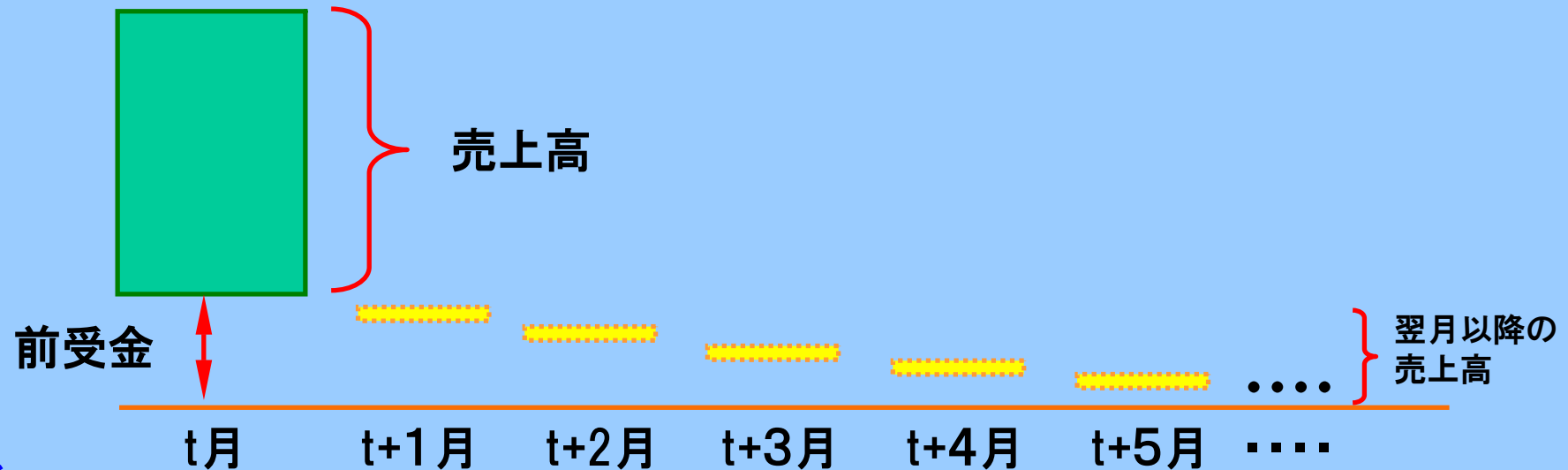
- 売上を「ソフトウェア部分」と「保守サポート部分」で区別して計上しております。
  - ソフトウェア部分と保守サポート部分を区別して顧客に提供する体制が整ったことによります。
  - 平成20年3月期より開始し、平成21年3月期は本格的に通年で適用となります。
- 詳細
  - ソフトウェア部分の売上は、従来通り**販売した時点で売上計上**。
  - 保守サポート部分の売上は、**契約月数で案分し売上計上**。  
販売時点では売上計上せず、製品利用契約期間で案分し、月単位で順次売上計上していく。
- 平成21年3月期は本格的にこの会計区分変更が適用となるため、**販売済の保守サポート部分については、販売時点での売上計上はされず、同額が将来の売上を増加させる**。

# 売上区分変更による計上方法について(図説)

## 売上区分開始前



## 売上区分開始後



# 平成21年3月期 第2四半期決算サマリー

---

*DigitalArts.*

## ➤ 企業向け市場で売上が前年同期を上回る

- 閲覧制限にとどまらず、内部統制や情報漏洩対策への関心は継続的に高い
- 市場のニーズに一層対応した、「i-FILTER Ver.7」と「m-FILTER Ver.2」の発売開始
- アクセスログの分析・保管の面で「i-FILTER」の販売が好調に推移し、POP対応やファイルの自動ロック機能などを追加した「m-FILTER」も好評

## ➤ 公共向け市場で売上が前年同期を上回る

- セキュリティ対策が未整備な教育機関への販売を推進
- IT化を進め、情報漏洩対策に積極的な地方自治体や官公庁への販売を推進

## ➤ 家庭向け市場で売上が前年同期を大幅に上回る

- インターネットの不適切な利用による未成年者に関する犯罪の発生は増加
- 政府のフィルタリングを主軸とした有害情報対策の取り組みの強化や法律の成立
- 平成20年2月に大幅に機能を強化した「i-フィルター 5.0」を大手家電量販店などの店頭販売を始めとした販売活動を推進した結果、販売が好調に推移

# 平成21年3月期第2四半期 決算サマリー(連結P/L)

平成21年3月期中間期連結売上高(保守サポート売上高区分後)は、  
**9億1千7百万円**(対前年同期増減率約17%)、営業利益は**3億9百万円**(対前年同期増減率約19%)  
 となりました。

(単位：百万円)

連結	平成20年3月期		平成21年3月期			
	中間期(実) 保守サポート売上高 区分後	構成比	中間期(実) 保守サポート売上高 区分前	対前年同期 増減率	中間期(実) 保守サポート売上高 区分後	対前年同期 増減率
売上高	784	100.0%	1,021	30.1%	917	16.9%
営業利益	260	33.1%	413	58.9%	309	18.9%
経常利益	260	33.2%	414	59.1%	310	19.2%
中間純利益	143	18.3%	274	90.7%	170	18.6%

注：保守サポート売上高区分前の売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益はプロフォーマベースのものです。  
 税金費用についても会計上の税金費用を適用しております。

※ 保守サポート売上高区分前：販売した保守料売上を含む売上(プロフォーマベース)

※ 保守サポート売上高区分後：保守料売上を除いた売上(会計上の数値)

※ 平成20年3月期の保守サポート売上高区分前の売上高は、788百万円になります。

※ 対前年同期増減率は、平成20年3月期の保守サポート売上高区分後に対する増減率です。

## 参考)平成21年3月期第2四半期 決算サマリー(単体P/L)

平成21年3月期中間期単体売上高(保守サポート売上高区分後)は、**8億8千7百万円**(対前年同期増減率約16%)、営業利益は**3億1千7百万円**(対前年同期増減率約15%)となりました。

(単位：百万円)

単体	平成20年3月期		平成21年3月期			
	中間期(実) 保守サポート売上高 区分後	構成比	中間期(実) 保守サポート売上高 区分前	対前年同期 増減率	中間期(実) 保守サポート売上高 区分後	対前年同期 増減率
売上高	762	100.0%	987	29.5%	887	16.3%
営業利益	275	36.2%	418	51.8%	317	15.3%
経常利益	279	36.6%	420	50.6%	319	14.5%
中間純利益	162	21.3%	285	75.8%	185	13.9%

注:保守サポート売上高区分前の売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益はプロフォーマベースのものです。  
税金費用についても会計上の税金費用を適用しております。

※ 保守サポート売上高区分前:販売した保守料売上を含む売上(プロフォーマベース)

※ 保守サポート売上高区分後:保守料売上を除いた売上(会計上の数値)

※ 平成20年3月期の保守サポート売上高区分前の売上高は、766百万円になります。

※ 対前年同期増減率は、平成20年3月期の保守サポート売上高区分後に対する増減率です。



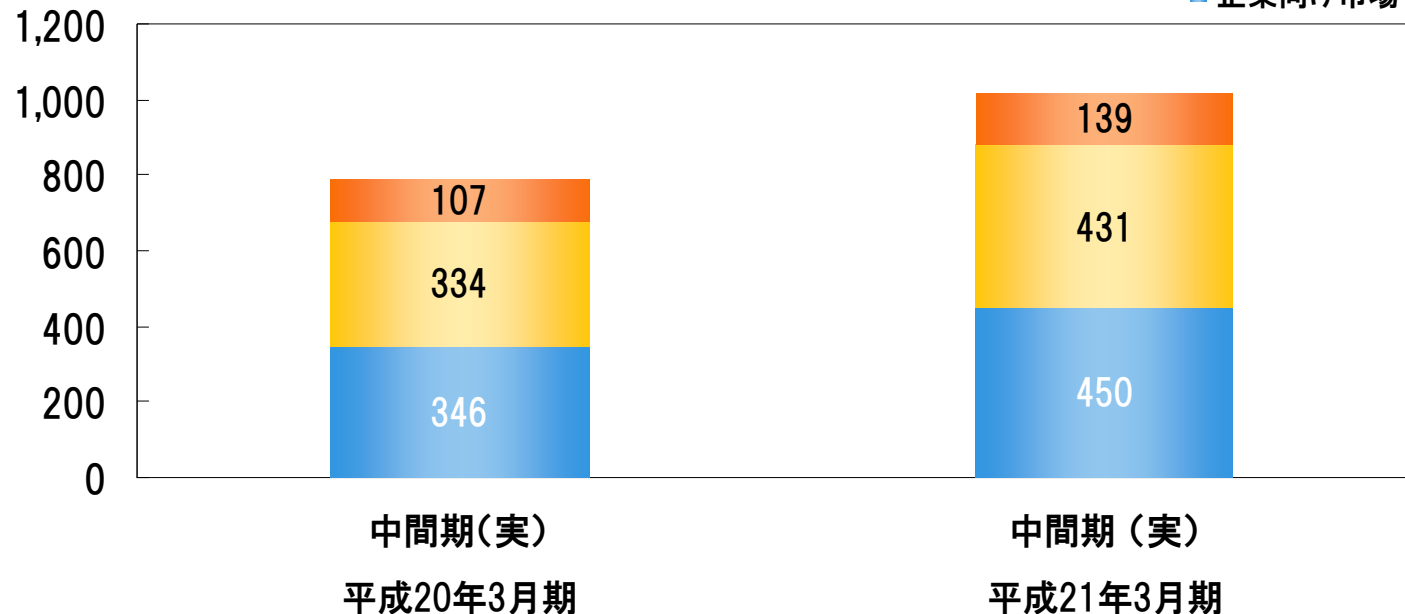
# 平成21年3月期第2四半期 市場別売上高(連結) -売上高区分前-

(単位：百万円)

連結	平成20年3月期	平成21年3月期	
	中間期(実)	中間期(実)	対前年同期 増減率
企業向け市場	346	450	30.3%
公共向け市場	334	431	28.8%
家庭向け市場	107	139	29.0%
合計	788	1,021	29.5%

市場別売上高の推移(連結)

(単位：百万円)



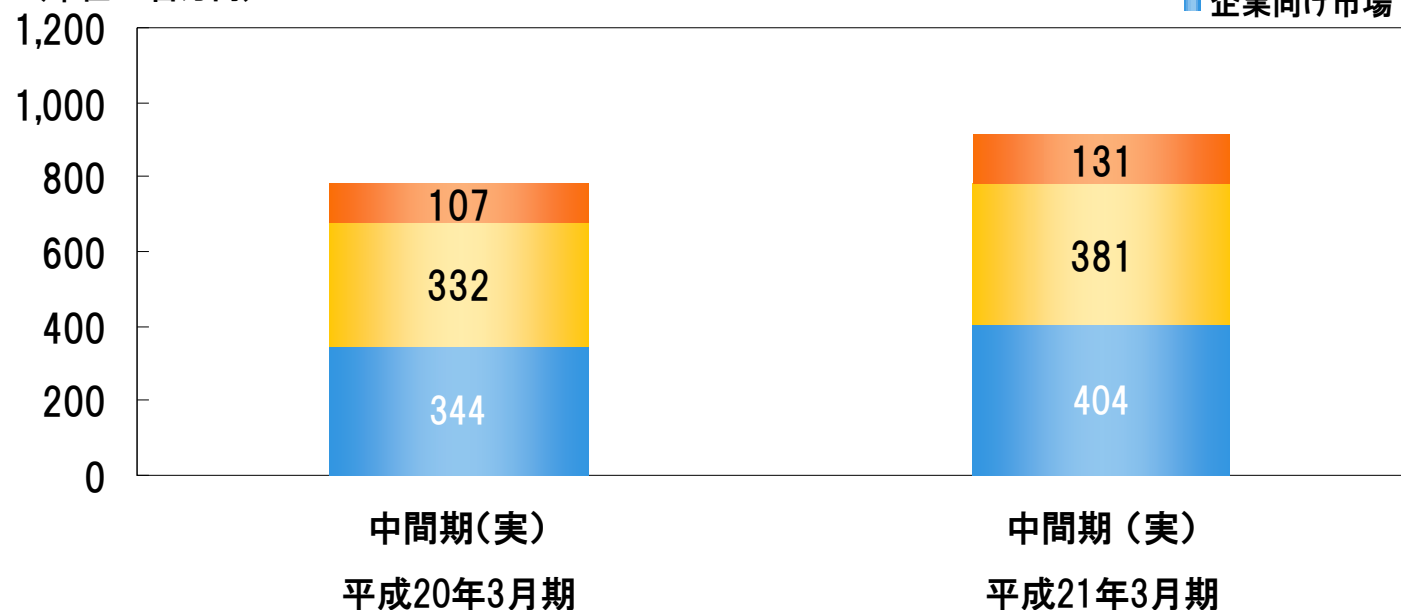
# 平成21年3月期第2四半期 市場別売上高(連結) -売上高区分後-

(単位：百万円)

連結	平成20年3月期	平成21年3月期	
	中間期(実)	中間期(実)	対前年同期 増減率
企業向け市場	344	404	17.4%
公共向け市場	332	381	14.7%
家庭向け市場	107	131	22.1%
合計	784	917	16.9%

市場別売上高の推移(連結)

(単位：百万円)



# 平成21年3月期 業績予想

---

*DigitalArts.*

# 平成21年3月期 業績予想サマリー(連結)

平成21年3月期通期連結売上高(保守サポート売上高区分後)は、**18億7千万円**(対前年同期増減率約10%)、営業利益は**6億8千5百万円**(対前年同期増減率約10%)の見通しです。

本平成21年3月期通期連結業績予想は、平成20年3月期決算短信(平成20年5月14日)開示情報から、変更しておりません。今後、何らかの変化がある場合は、適切に開示してまいります。

(単位:百万円)

連結	平成20年3月期実績		平成21年3月期予想			
	保守サポート売上高区分前	保守サポート売上高区分後	保守サポート売上高区分前	対前年同期増減率	保守サポート売上高区分後	対前年同期増減率
売上高	1,754	1,700	2,030	16%	1,870	10%
営業利益	676	622	845	25%	685	10%
経常利益	676	623	846	25%	686	10%
当期純利益	403	349	537	33%	377	8%

注:保守サポート売上高区分前の売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益はプロフォーマベースのものです。税金費用についても会計上の税金費用を適用しております。

※ 保守サポート売上高区分前:販売した保守料売上を含む売上(プロフォーマベース)

※ 保守サポート売上高区分後:保守料売上を除いた売上(会計上の数値)

## 記述に関するご注意

本プレゼンテーション資料に記載されている計画、戦略、財務的予測のうち歴史的な事実でないものは、将来の見通しに対する記述であり、当社経営陣が現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、環境等の変化により大きく見通しの変動する可能性があります。

本プレゼンテーションの基本的な数値の記載は、一部を除き百万円未満を切り捨てて表示しております。